

アルミ地金、スクラップとも増加

アルミ圧延品、二次合金ともなお生産増続く

アルミ橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏

■国際概況  
八月上旬は中国の電力制限や八月のミシガン大米消費者信頼感指数が予想を大きく下回ったことを受けたドル安などのプラスチック材料もあつたが、中国で新型コロナウイルスのインド型デルタ型の感染が拡大し、当局が省をまたぐ移動の制限を呼びかけ、大型イベントが一時的に中止されたことと伝わったことや、中国税関総署が七日発表した七月の貿易統計では輸出の伸びが六月から大幅に減速したなどを嫌気しLMEアルミ相場はDOWN、八月十五日時点で二一六〇二五ドル(セツル)と月初価格から三二・五ドルDOWNの前半締めとなった。

後半はデルタ株の感染拡大への警戒感の強まりや、中国の七月小売売上高、同月の鉱工業生産や粗鋼生産が伸び悩み、同国の経済成長の鈍化懸念などのマイナスマテリアルあつたが、米当局が二十三日に米製薬ファイザーと独ピオンテックが共同開発した新型コロナウイルスを正式承認したことにより浮上した「ワクチン接種率が高まり、今秋から登校や出社などが順調に進み、米景気回復を支える」との思惑を好感しLMEアルミ相場はUP、七月末日現在、後半スタート価格から七〇ドルUPの二、七一四ドル。

■前月の経済指標  
◆月間のドル/円レート (TTS)  
一〇九三二→一〇九九五(円)。  
◆自動車生産台数  
生産動向統計によると、七月の自動車生産台数は前年比二二%増の六八万八七七一台。  
輸出二二・五%増の三四万九八四一台。  
◆自動車販売台数  
日本自動車販売協会連合会によると、八月の自動車販売台数(軽除く)は前年比四・四%増の二〇万六、五六八台。  
◆住宅着工戸数  
七月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比九・九%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比六・九%の増加となった。

新設住宅着工戸数は七万七、一八二戸。

前年同月比九・九%増、五カ月連続の増加。新設住宅着工床面積は六、三五二万㎡。前年同月比一三・一%増、四カ月連続の増加。季節調整済年率換算値では九二万六千戸。前月比六・九%増、三カ月ぶりの増加。  
◆貿易関連指標

(輸出)

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比六九・一%増の一六一一、二次合金が三八・六%増の二、三三六、スクラップが二二・一%増の二万三、九三〇、アルミ缶が八五%増の七、三四〇。

(輸入)

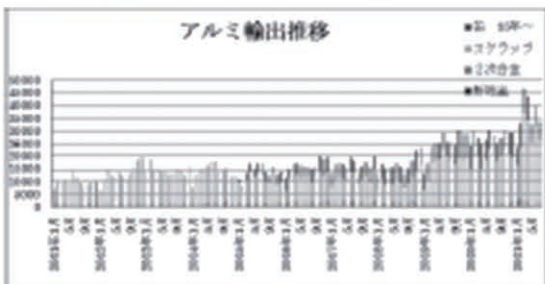
輸入は新地金が前年比二〇・二%増の九万七、四一三、一次合金が八九一%増の七万六、七〇九、スクラップが四七・一%増の三〇四、合金スクラップは二〇七%増の五、二四八。

■前月の国内指標

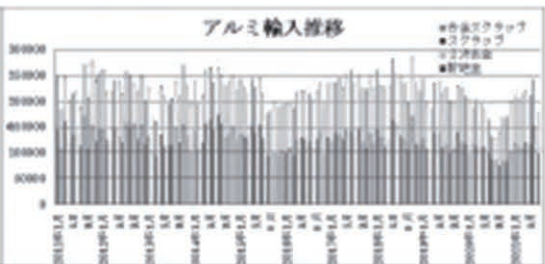
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比二六%増の一六万四、四一六と七カ月連続プラス。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績によると、前年比三七・三%増の七万、一三三〇と九カ月連続プラス。出荷は三二・五%増の七万、八二一と九カ月連続プラス。(六面へ続く)

アルミ輸出推移



アルミ輸入推移





(四週より続く)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産統計によると、七月の自動車生産台数は前年比二・二%増の六八万八千七百七十一台、輸出は二・五%増の三万九千九百八十四台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると、八月の自動車販売台数(軽除く)は前年比四・四%増の二〇万六千五百八十八台。

このうち乗用車三・七%増、貨物九%増、バス四・七%増。

【住宅着工数】

七月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比九・九%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比六・九%の増加となった。

新設住宅着工戸数は七万七千八百一十八戸。前年同月比九・九%増、五カ月連続の増加。

新設住宅着工床面積は六千三百五十二坪。前年同月比一・一%増、四カ月連続の増加。

季節調整済年率換算値では九万二千六百六十戸。前月比六・九%増、三カ月ぶりの増加。

【アルミニウム・押出品生産】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比一・六%増の一六万四千四百一十六と七カ月連続プラス。

このうち板類は一〇万二千四百〇〇トンで一四・六%増と七カ月連続プラス、押出類は六万二千〇一十六トンで一八・四%増と五カ月連続プラス。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

日本アルミニウム協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績によると、前年比三・七%増の七万一千三百三〇と九カ月連続プラス。

出荷は三二・五%増の七万一千八百一十と九カ月連続プラス。

【輸出】

輸出はアルミニウム新地金が前年比六・九%増の二六・一、二次合金が三八・六%増の二・三三六、スクラップが二・二%増の二万二千九百三〇、アルミ出が八・五%増の七・三三〇。

【輸入】

輸入はアルミニウム新地金が前年比一〇・二%増の九万七千四百三十三、二次合金が八・九%増の七万六千七百九十九、スクラップが四七・一%減の三〇四、合金スクラップが一〇・七%増の五、一四八。

【自動車】

七月の自動車生産が二・二%増。六月国内販売台数が前年比四・四%増。

生産の増加幅が極端に減少、半導体以外の中国からの部品供給の遅れ?

同じく販売の増加率が減ってきている。今後増加していくか注視。

・日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比一・六%増の一六万四千四百一十六と七カ月連続プラス。

今後プラスが続くかの動向に注視。

・日本アルミニウム協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績によると、前年比三・七%増の七万一千三百三〇と九カ月連続プラス。

出荷は三二・五%増の七万一千八百一十と九カ月連続プラス。

プラスが続くか注視。

・アルミ輸出は相場の急騰や外需比較的好調なことを受けて大幅増。

・アルミ輸入は国内自動車販売の好調から大幅増。

【スクラップ相場予想】

流通(二次問題)在庫は、LME価格が前月一段高の二・六〇〇〜二・七〇〇ドル台で高止まりしたことから不足は続く。

需要面に関しては、前月に続き中国コロナ感染拡大による部品調達の遅れからの自動車需要の減少から、生産は減少傾向にあるが、今のところ買い気ありメーカー在庫は希薄。

【LME・為替予想】

今月も①コロナ感染拡大動向(デルタ株による)②米中の貿易動向に左右される。

①に関しては

ワクチン接種によって治まっていた欧米が新株(ミュー株)に再び感染拡大の危機に陥っている。ただ今のところ感染力は未知数でデーターもないが、ワクチン接種の更なる拡大から感染拡大が防げるのではないかと?

②に関しては

直近の景気指標で八月の中国製造業PMI(購買担当者景気指数)は結果五〇・一、事前予想五〇・二、前回五〇・四、八月のコンファレンスボード米消費者信頼感指数は結果一一・三・八、予想一一・三・〇、前回一一・五・一(一一・九・一から修正)、中国の八月の財新・中国製造業購買担当者景気指数(PMI)が昨年四月以来、初めてとなる五〇割れとなり、追加的景気対策が無ければ失速するのではないかと? これらを踏まえた九月のアルミ価格は、二、六〇〇〜二、七五〇ドル(セツル)との予想。ドル円値は一〇九円〜一一二円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては据え置きから五円高程度と予測している。